



有限会社エフ・ベース
代表取締役 NPO 法人
かけがわランドバンク理事長

丸山 勲氏

大野建設株式会社 代表取締役社長
JBN 中大規模木造建築物委員会
副委員長

大野 哲也氏

青梅市・あきる野市
タウンマネージャー
都市研究室 hclab. 主宰

國廣 純子氏

東村山市 経営政策部
公共施設マネジメント課 課長

杉山 健一氏

津山市 財政部財産活用課
主幹

川口 義洋氏

小規模連携と地域資源（ヒト × コト × モノ × 拠点）でまちを変える！

公民連携

実践者の言葉と事例から学ぶりレーセミナー！
行政と民間が連携する “これからのまちづくり”

第1回 | オンライン開催

公民連携ガイダンス・
地域工務店の公民連携

2.3 木

10:00-12:00 | 参加無料

第2回 | 青梅市にて（リアル開催）

「中間支援者タウンマネージャー
から見た公民連携」

4.12 火 13 水

初日 13:00 集合予定 | 参加無料

第3回 | オンライン開催

行政担当者に取り組む
公民連携の最前線

6月開催

※日程調整中 | 参加無料

一般社団法人
木造施設協議会

詳細は裏面にて。セミナーは各回のみ参加も可能
参加申込は Web で受付中 ▶



木造施設協議会「公民連携」リレーセミナー 2022

〔後援〕株式会社 新新聞社

企画趣旨

木造施設協議会代表理事 / 相羽建設(株) 相羽健太郎

2022年を迎え、木造施設協議会の各会員の報告からも木造施設や法人との連携事例は間違いなく増えている。

本協議会を設立時に掲げていた文教教育施設、医療施設・高齢者施設といった用途の建物に留まらず、地域の土業や法人の事務所施設、木造倉庫、その他にも多様なユーザーや用途の建物への関わりが見てとれる。また木造という分野の中でも在来木造、CLTや大断面集成材の利用、金物構法や大型パネル構法など各社各様で様々な取り組みがある。さらに木造だけでなく木質改修も含めて木を扱う地域工務店や事業者の関わりが増えていることは時代と仕事の大きな変化と言えるのではないだろうか。

一方で、多様な仕事を行うための中小事業者の資源(ヒト・カネ・モノ・情報 etc)には限りがあることも事実で、このあたりがボトルネックになっているケースも散見する。2021年からのウッドショックなど外部環境の問題も重なり、内外部ともに問題が発生し障害となる場面も多い状況だ。まさにこのような問題を解決すべく、木造施設協議会は発足し、存在をしており、小規模連携の必要性は更に高まっている。そして協議会内部の会員間の連携にとどまらず、外部事業者や行政、ユーザーなどとも連携・協働をしていくことが大きな伸び代ではないかと考える。

2022年は「連携・協働」を本協議会の大きなテーマと位置づけ、その実現に向けた企画と実行をしていく。その第1弾として「公民連携」を3回にわたるリレーセミナーで掘りさげていく。3回それぞれに工務店やタウンマネージャー、行政など多様な立場での実践や公民連携の事例を紹介し、触れることができる。協議会の会員各位、そして地域での連携に意欲を持つ方々のご参加と、そこから生まれる新しい協働や創発を期待している。

開催スケジュール | 参加無料・各回のみも参加可能

●第1回「地域工務店の公民連携」2月3日(木)

10:00- オンライン開催

- ・タウンマネージャー 國廣純子氏より「公民連携」ガイダンス
- ・大野建設 大野哲也氏 「コロナ対応の応急仮設住宅の取り組み」
- ・エフ・ベース 丸山勲氏 「地域の空き家対策 NPO かけがわランド・バンク」
- ・相羽建設 遠藤誠・相羽健太郎 「東村山市との連携 | 公園管理 ParkPFI・Web会議ブース等」

●第2回「中間支援者タウンマネージャーから見た公民連携」

4月12日(火) 13日(水) リアル開催予定

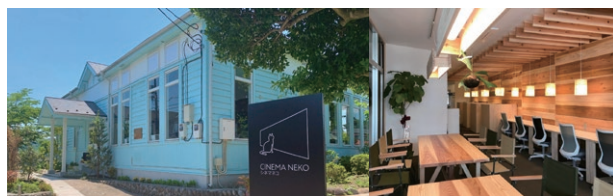
- ・東京都青梅市・あきる野市タウンマネージャー 國廣純子氏
自身の取り組み事例 / 民間事業者、行政へのアドバイス
- ・リアル&オンラインハイブリット開催 /
1日目夜懇親会 / 2日目 國廣さんアテンドによる現地視察(希望者)

●第3回「行政担当者が取り組む公民連携」

6月開催 ※日程調整中 オンライン開催予定

- ・岡山県津山市 川口義洋氏 / 東京都東村山市 杉山健一氏

参加申込はこちら



登壇者プロフィール



國廣 純子

青梅市・あきる野市タウンマネージャー。慶応大卒業後、日本銀行調査統計局を経て、都市計画・建築の分野へ進む。中国・北京の都市計画事務所で副社長を務めた後、2013年より現職。2018年より東京都あきる野市五日市エリアでも支援開始。商工会議所や市、地元業者らでつくる協議会で企画立案や事業展開のサポート役を務めている。



丸山 勲

有限会社エフ・ベース代表取締役社長。NPO 法人かけがわランド・バンク理事長。静岡県掛川市を拠点に、自然エネルギーを活用した木造住宅の建築から、中心市街地の活性化に向けたコワーキングスペース運営や空き家再生など、家創りにとどまらず「暮らしを創る」ことをテーマに、地域との関係性を大事にした活動を行っている。



大野 哲也

大野建設株式会社代表取締役社長。JBN 中大規模木造建築物委員会副委員長。埼玉県行田市出身。立教大学経済学部経営学科在学中に IT ベンチャー事業に参画。卒業後大手 IT 企業に入社。2005年に大野建設株式会社に入社。営業・経営企画職を経て2021年代表取締役社長に就任。創業114年の同社は地域密着の総合建築工務店。「先義後利で人(お客様・社員)の夢づくり第一主義」を信念に掲げる。



遠藤 誠

相羽建設株式会社不動産事業部。公園管理事業リーダー。一級建築士・宅地建物取引士・ファイナンシャルプランナー/CFP®・定借プランナー。木造住宅の提案から木造施設、店舗やオフィス改修の計画づくり、不動産事業や公園事業など地域工務店の新たな事業領域に意欲的に取り組んでいる。



相羽 健太郎

一般社団法人木造施設協議会代表理事、相羽建設株式会社代表取締役。神奈川大学卒。一条工務店を経て1998年に相羽建設に入社。建築家の故・永田昌民氏や伊礼智氏、家具デザイナーの小泉誠氏との協働をはじめ、建築業界や行政、地域との価値観に基づいたつながりの中で「創発」が生まれるプロジェクトを多数進めている。一般社団法人わがざ理理事。一般社団法人木造施設協議会代表理事。



杉山 健一

東村山市経営政策部 公共施設マネジメント課 課長。東洋大学公民連携専攻12期生。固定資産台帳の整備、公共施設マネジメントに加え、国内初の公民連携プラットフォーム連動型民間事業提案制度に従事。2020年より東村山市のスマートシティ × 公民連携事業も推進している。



川口 義洋

津山市 財政部 財産活用課 主幹。1971年岡山県生まれ。明治大学建築学科卒業。津山市役所入庁し16年間、建築営繕と建築指導の業務を行う。2015年の津山市ファミリーマネジメント事業立ち上げ時に建築の専門家として財政課に移動し、それ以降、建築的な視点から都市経営課題の解決に取り組む。

